



資源物

第1・第3の月曜

- 原則として祝日の収集はありません
- 種類ごとに45Lまでの透明ごみ袋に入れて出してください

透明ごみ袋

半透明ごみ袋含む



特にお願い!

- ★できるだけ市民リサイクル活動を利用しましょう。
- ★びん・缶のフタは必ず取りはずして出してください。
- ★びん・缶の中にタバコの吸いがらやごみを入れないでください。
- ★びん・缶は中をすすいで出してください。

なべ類

鍋、やかん、フライパン、ホーロー鍋、金属製の食器類(ボール・ざる・おぼん・スプーン・フォークなど)、炊飯器の内釜など



〈留意点〉

- 土鍋は埋立ごみ。

空きびん・空き缶(アルミ缶・スチール缶)

ジュース、酒類等の飲料びんや調味料、油、ジャム、佃煮、化粧品等のびん

フタは必ず取りはずしてください!

ビール・アルコール飲料やジュース等の飲料缶、クリキーや海苔の缶、紅茶の缶、ミルクの缶、色鉛筆の金属ケース、4L缶(オイル缶)、18L缶(一斗缶)など

〈留意点〉

- 金属製のふたは資源物(裏にプラスチックがついたものも可)、プラスチック製のふたはプラスチック製容器包装の日に出してください。
- ※空きびんと空き缶は同じ袋でも収集できます。
- ※ガス缶・スプレー缶は特定品目へ



古着類

衣類(洋服、和服、シャツ、トレーナーなど)、シーツ、タオルケットなど

※下着、靴下、カーテンは燃やすごみに。

- 汚れているものは洗濯して。
- カーテンや毛布、綿(わた)入りのものは燃やすごみに。
- 収集日が雨天の日は、出しひかえるか、濡れないように口をきつく結んで出す。(濡れるとリサイクルに支障が出ます。)



自転車

自転車、電動自転車



〈留意点〉

- 不用品と明示する。
- 廃棄する前に防犯登録の抹消をする。(抹消はお近くの交番か自転車購入店へ)
- 子ども用三輪車・一輪車は大型ごみ(有料)に。
- 電動自転車のバッテリーは出せません。購入店へご相談ください。



ペットボトル

第2・第4の月曜

- 原則として祝日の収集はありません
- 45Lまでの透明ごみ袋に入れて出してください

透明ごみ袋

半透明ごみ袋含む

特にお願い!

- ★キャップとラベルは必ず取り外して、中を軽くすすいでつぶして出してください。
- ★プラスチックのキャップとラベルはプラスチック製容器包装の日に出してください。
- ★特定品目と同一日の収集ですが、収集する車が異なるため出来るだけ特定品目と置き場を分けてください。



ペットボトルの種類と出し方

ペットボトルの材質表示マーク
(右図参照)のついたもの。



特定品目

特定品目

第2・第4の月曜

- 原則として祝日の収集はありません
- 45Lまでの透明ごみ袋に入れて出してください

透明ごみ袋

半透明ごみ袋含む

★ペットボトルと同じ収集日・場所ですが、収集時間帯が異なります。

★注射器や注射針は絶対に出さないでください。

特定品目とは

水銀を含むもの、爆発や火災の危険性があるので、家庭から出される①蛍光管、②水銀体温計・水銀血圧計、③ガス缶・スプレー缶、④ライター、⑤電池類が取り外せない小型家電製品、⑥電池類の6品目が対象です。

(1) 蛍光管、水銀体温計・水銀血圧計

- ア 割れないよう、また破損しないよう購入時の包装材に入れるか、新聞紙などに包んで透明ごみ袋に入れてください。
- イ 割れてしまった場合は、丈夫な紙などに包んで「危険」と表示し、透明ごみ袋に入れてください。
- ※白熱電球・LED(電球型・蛍光管型)、電子血圧計・電子体温計は、埋立ごみに出してください。
- ※長い蛍光管を透明ごみ袋に入れた場合、その一部が袋からはみ出ることがありますので、収集します。

(2) ガス缶・スプレー缶類、ライター

- ア 必ず中身を使い切ってから出してください。
- ※商品に記載されている使用説明をご覧いただき、風通しが良く火の気のない屋外で、確実に中身を空にしてください。ただし、穴を開ける必要はありません。

(3) 電池類が取り外せない小型家電製品

- ア 電池類が取り外せるものは、電池類だけを特定品目に出してください。
- 電池類を取り外した製品本体は材質や大きさにより分別してください。
- イ 大袋(45L相当)の指定袋に入れて口が結べないものは大型ごみです。
- ウ 使用済み小型家電の拠点回収もご利用ください。(15ページ参照)

(4) 電池類

- ア ある程度の量をためて出してください。
- イ 必ず、小さな透明袋に入れて出してください。
- ウ ボタン型電池や充電池は、家電量販店(回収協力店)の店頭回収もご利用いただけます。

異なる種類の特定品目を1枚の透明ごみ袋に入れて、まとめて出すこともできます。

ただし、この場合でも、電池類だけは、別途小さな透明袋に入れてください。



蛍光管



水銀体温計・水銀血圧計



ガス缶・スプレー缶



ライター



電池類が取り外せない 小型家電製品



電池類

